

とても大切なことですので必ずお読みください。

ワクチンについてのご注意

- 1 妊娠犬には使用しないでください。
- 2 健康体でないとワクチンは接種できません。
愛犬の体調に気をつけてください。
- 3 接種後、しばらくの間はよく様子を見てください。
普段と違った様子が見られたら、当院へご連絡ください。
- 4 ワクチン接種当日は安静にし、接種後2～3日間は
激しい運動やシャンプーは避けてください。
- 5 アレルギー体質の犬ではまれに、嘔吐、下痢、唇や
まぶたのむくみが認められたり、けいれんや虚脱を
起こすことがあります。そのような場合はすぐに当
院まで連絡してください。
- 6 ワクチン接種後、十分な免疫が出来るまで（通常約
2～3週間）、他の犬との接触を避けてください。
※初めてのワクチン接種の場合、1回では十分な免
疫ができないことがあります。
- 7 次回のワクチン接種については、担当の先生とよく
相談してください。

ワクチン接種の予定

年 月 日

年 月 日

年 月 日

*子犬には3週間以上の間隔で2～3回の接種が必要です。

*成犬には毎年1回の接種をお奨めします。

ワクチン接種については、当院にご相談ください。

Pfizer ファイザー株式会社
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

pfizer **Pf**ax TEL 0120-317955
FAX 0120-317965

<http://www.animalhealth.pfizer.co.jp>

CA0701
HA0015

飼い主の皆さまへ

やさしい ワクチン物語

愛犬を恐ろしい伝染病から守れ!

ボクの名は“プラス”
かかりつけの動物病院にやって来ました。
今日はボクにワクチンをするんだって…。



Pfizer

Animal Health

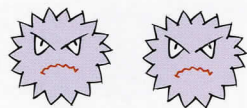
* 愛犬とともに健康に暮らすために *

子犬には早い時期での ワクチン接種が必要です。

母親からもらった免疫(母子免疫)力が弱くなる生後2~3ヵ月頃から、子犬が様々な伝染病にかかる危険性が高まります。ファイザーのバンガードは、ワクチンの力が強いハイタイター/ローパッセージ^(パルボ)。母子免疫力が弱くなる前にワクチンによる免疫が得られ、子犬の健康を守り、子犬の社会化も助けます。

※

※子犬の社会化とは…子犬の早い時期にたくさんの犬や様々な人に接し、社会に慣らすことで、大切な“しつけ”の1つといわれています。



子犬のまわりはウイルスがいっぱい!



ワクチン接種は 毎年忘れずに受けましょう!

ワクチンを受けるワンちゃんの数はまだまだ多いとは言えず、伝染病の危険はどこにも有ります。愛犬を伝染病から守るためにも年1回のワクチン接種をお奨めします。

ファイザーのワクチン
バンガード[®]

ワクチンの力が強いハイタイター/ローパッセージ^(パルボ)。欧米でも評価の高いワクチンです。

ファイザーのバンガードが守る

恐ろしい伝染病



※死亡率の高い
病気です。

犬のジステンパー

- 高熱、目ヤニ、鼻水、食欲不振、嘔吐や下痢
- 病気が進むと神経系がおかされマヒなどの後遺症が残る場合があります。

※死亡率の高い
病気です。

犬パルボウイルス感染症

- 激しい嘔吐、下痢、食欲不振、急激な衰弱
- 重症になると脱水症状が進み、短時間で死亡することもあります。伝染性の強い病気です。

犬伝染性肝炎

- 発熱、腹痛、嘔吐、下痢、目が白く濁る
- 生後1年未満の子犬が感染すると、全く症状を示すことなく、突然死することがあります。



犬アデノウイルス2型感染症

- 発熱、食欲不振、クシャミ、鼻水、短く乾いた咳がみられ、肺炎を起こすこともあります。
- 他のウイルスとの混合感染により症状が重くなり、死亡率が高くなる呼吸器病です。

犬パラインフルエンザウイルス感染症

- カゼ症状がみられ、混合感染や二次感染が起こると重症になり死亡することもあります。
- 伝染性が非常に強い病気です。



犬コロナウイルス感染症

- 成犬の場合は軽度の胃腸炎ですむことが多いのですが、子犬の場合は、嘔吐と重度の水溶性下痢を引き起こします。

犬レプトスピラ感染症

- 人間にも共通の伝染病です。
- イクテロヘモラジー型は、発熱、黄疸、歯肉からの出血などがあります。
 - カニコラ型は発熱、筋肉痛、脱水症状などが現れ、尿毒症になり2~3日以内に死亡することがあります。



※予防する病気の種類については、病気の発生状況や飼育環境等を含めて、担当の先生にご相談ください。

かけがえのない愛犬を守れ!

＊この物語の登場人物たち＊

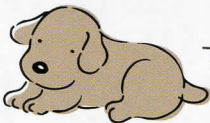


アイちゃん
プラスちゃん
のやさしい飼主さん

ウイルス・
細菌
愛犬たちの命を
おびやかす宿敵

ファイザーのワクチン
バンガード[®]
愛犬たちの命を守る
信頼のワクチン

ドクター
プラスちゃん
のかかりつけの
動物病院の先生



プラスちゃん
こと生まれた
ばかりの子犬

1

オイ! あいつを狙おうぜ!

まだ小さいな...
それに、そろそろ
母子免疫の弱くなる
頃だよだな...

2

やっちまえ!

ヒヤ〜!

3

誰だ、お前は!

邪魔するな!
痛い目に
あうぞ!

おい、
ちょっと待て!!

4

ファイザーのワクチン
バンガード[®]だっ!

ヒンヒン

おい、アイツ
手ごわそうぞ...

カッコいい〜!

5

ヒヤ〜!

パチパチ

愛犬たちを苦しめる
悪いヤツらは、
こうしてやるっ!

パンチ!

6

バンガードさん!
どうも有難う...

7

でも、どうして
そんなに
力持ちなの?!

8

そのヒミツはね...

ファイザー社が、ボクを
力の強いワクチンに生んでくれたんだ。
ハイタイター/ローパッセージ^(リレボ)
って言うんだ!

だから、
プラスちゃんのような
子犬くんたちにも、**母子免疫力が
弱くなる前に接種して、
悪いヤツらから守ることが
できるんだよ...**

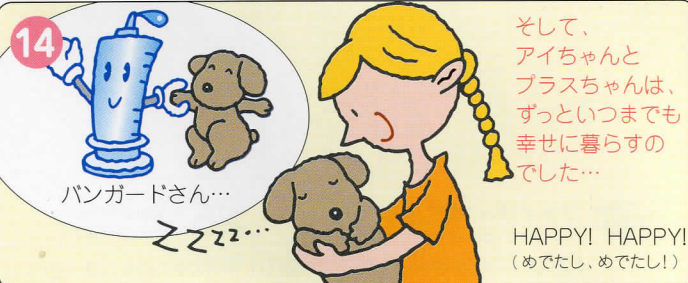
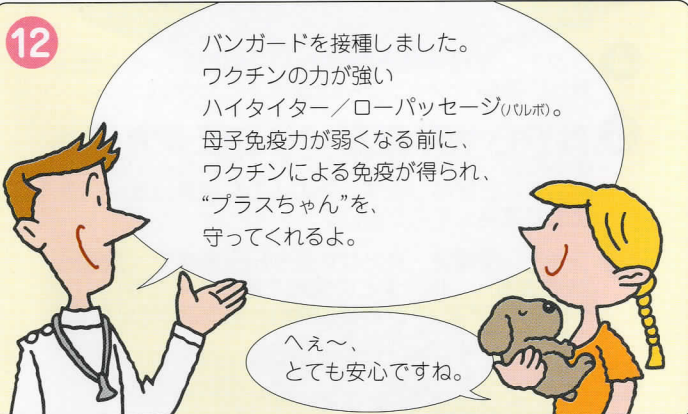
へえ〜っ、
すごい!

9

ボ、ボクに
できること
なら...

バンガードさん、
これからも
ずっとボクのこと
守ってね...

※母子免疫とは…母犬からもらう免疫のことで、その免疫力には個体差があります。



ワクチン Q&A



Q ワクチンはいつ受ければいい?

A 子犬が初めて接種する場合は、生後数ヶ月にわたって繰り返しワクチン接種をする必要があります。これは、母犬からもらった免疫（母子免疫）が続く長さには子犬ごとに差があるので、数回に分けて接種しなくてはならないのです。



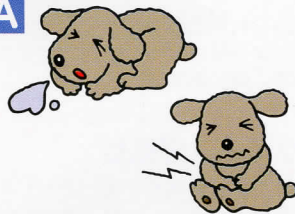
Q ワクチンを受けた日はどうする?

A ワクチン接種後、まれに一過性の副作用がみられることがあります。接種後、しばらくの間はよく様子を見てください。また当日及び数日間は安静に過ごしてください。



Q もしワクチンを受けなかったら?

A 伝染病にかかる危険性が高くなります。病気にかかった場合、愛犬だけでなく他の犬にも被害が及びます。また、なかには、人間に共通の病気もあります。



Q どうしてワクチンは毎年必要なの?

A ワクチンを受けるワンちゃんの数は、まだまだ多いとは言えず、伝染病の危険はどこにも有ります。愛犬が伝染病にかかる危険性を少なくするためにも、年1回のワクチンをお奨めします。

